

🌀 展開例

目的 「夏の進路プランニング」として、夏休みに神戸の地元企業や団体、官公庁な職業について学び、地域課題について考える。

小磯記念美術館での活動

- ①小磯良平の生涯や作品について、学芸員よりレクチャーを受ける。
- ②展示室の作品の前でギャラリートークを体験する。
- ③アトリエ解説
- ④自由鑑賞

美術館後の取り組み

夏休み中にレポートまとめ、夏休み明けの授業で各自発表する。
発表会以降はそのまま自分の探究課題を深めてもよいし、テーマを変更してもかまわない。
1年生の最後にまとめの発表会を実施する。



🌀 今回の取り組みについて

六甲アイランド高等学校で、3年間を通して進路学習と探究活動を行います。

1年生が「進路プランニング」、2、3年生が「神戸学」として全学年週1時間ずつ設けています。

1年生では探究活動を通して自分の進路を考え、2年生から自分が進みたい系コースを考えます。

2年生では地域や身の回りの課題を見つけ、探究を深めます。年度末には探究成果をまとめて発表会を行います。3年生では、これまでの探究成果を自分の進路実現につなげるため、各自で受験に向けて準備をし、入試に臨みます。

小磯記念美術館を選ばせていただいた理由は、作品について答えのない問いについて考えることや小磯良平という人物を通して美術のみならず地域のことを考えるきっかけとなればと考えています。

本校には美術デザインコースがあり、専門的に美術を学ぶ生徒が多くいますが、将来美術の道に進まなくても美術館で学ぶことはたくさんあると考えています。また、六甲アイランドで学ぶ本校生が同じ島内にある美術館で学ぶことも意義のあることだと考えています。